



がん治療における骨吸収抑制薬による顎骨壊死の発症要因に関する研究

2015年4月1日から2025年3月31日までに口腔科（周術期）を受診した患者さんのうち、がん治療のために骨吸収抑制薬（ゾメタ、ランマークなど）の投与歴がある患者さん

研究協力をお願い

当科では「がん治療における骨吸収抑制薬による顎骨壊死の発症要因に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2015年4月1日より2025年3月31日までに、日本医科大学付属病院口腔科（周術期）を受診した患者さんのうち、がん治療のために骨吸収抑制薬（ゾメタ、ランマークなど）の投与歴がある方の顎骨壊死の発症要因に関する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：がん治療における骨吸収抑制薬による顎骨壊死の発症要因に関する研究
研究期間：研究実施許可日～2027年3月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 口腔科（周術期） 久野 彰子

(2) 研究の意義、目的について

がん治療で骨吸収抑制薬（ゾメタ、ランマークなど）を用いた際の副作用である顎骨壊死の発症要因を調べることが目的とします。発症要因が明らかとなれば、顎骨壊死を予防しながら、患者さんの全身状態に合わせたより良い歯科治療ができるようになると考えられます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015年4月1日より2025年3月31日までに日本医科大学付属病院口腔科（周術期）を受診した患者さんのうち、がん治療のために骨吸収抑制薬（ゾメタ、ランマークなど）の投与歴がある方の顎骨壊死発症の有無、発症時期、発症部位、重症度と、がん治療の期間、薬の種類、糖尿病の有無、う蝕と歯周病の有無、口腔科（周術期）での処置内容を分析します。情報は口腔科初診時と、定期検査時、および顎骨壊死発症時のものを用います。骨吸収抑制薬投与後、研究期間内は観察期間とし、観察期間の情報を分析に用います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、病名、顎骨壊死発症の有無、発症時期、発症部位、重症度、
がん治療の期間、薬の種類、糖尿病の有無、う蝕と歯周病の有無、口腔科（周術期）での処置内容

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 口腔科（周術期） 特任准教授 久野 彰子
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27536
メールアドレス：a-hisano@nms.ac.jp